
ヤツの一日

春野夜風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヤツの一日

【Nコード】

N9385D

【作者名】

春野夜風

【あらすじ】

彼のある一日を観察してみました。彼がただのバカだということが分かりました。

（前書き）

温かい目で見守ってあげてください。

「朝」

“ヤツ”の一日は朝起きるところから…いや、違うな。

「・・・」

A M 6 : 2 0 ヤツはまだ寝ている。しかし、ヤツの一日は此処から始まる。

“ピピピピ ピピピピ ”

朝の天敵“目覚まし時計”のけたたましく、喧しい音が部屋中に響く。

「・・・」

“ガシャン！！”

しかし、その朝の天敵はヤツの手により 一瞬で活動を停止した。再度言う。ヤツは まだ寝ている。

「・・・」

A M 6 : 3 0 ヤツの部屋に仕掛けられた目覚ましは“MDコンポ”“目覚まし時計”“携帯電話”の3つだ。しかし、目覚まし時計は先ほど殉職した（させられた）ので残りは2つ。順番的に次に始動するのはMDコンポ。次はどちらに軍敗が上がるのか。

しかし、ヤツは そんなに甘くはなかった。

「ん……」

ヤツは目覚めた。コンポは…まだ鳴っていない。鳴るまでには後1分。今はスタンバイモードになっている。

「リモコン…リモコン…あった…」

ヤツは虚ろな目でリモコンを見つけ、スタンバイモードになっているコンポの電源を落とした。

「…今は…6時半…あと30分寝れる…。でも暑い…」

今起きればかなりゆっくり出来る。朝風呂に入ってさっぱりし、新聞を読みながら朝食を取り、よく冷えたアイスコーヒーを飲みながら『コスプレッツツツソ！！！！（エスプレッソ）』等と意味のわからんことも言う余裕も生まれる。

（皆もやってみよう）

「眠い…暑い…眠い…」

とりあえず、さっき仕留めたMDコンポを再生してみた。

「あ…エクスタシイ…」

うつうつしながら寢床でゴロゴロすることのなんと至福なことか。

「いいんです！ ジョソ・カビラでもいいんです！」

うとうとしていたら曲が1曲、2曲と、時間が5分、10分と流れていく。

・・・

「あれ？ この曲はさっきも聴いたような……」

まあ昨日の夜からリピートで聞いているし……気のせいかな……。

気にせず聞き続けることにした。

・・・

「あれ？ また同じ曲？」

先ほどと同じ曲がまた流れる。

・・・

「もしかして……寝てた？」

・・・

「今何時だ！？」

携帯のディスプレイを確認すると……

“ 7時25分 ” とデカデカと表示されていた。自分は起きていると

思っていたが、どうやら寝てしまっていたようだ。

「遅刻だ――！！！！！！」

ヤツは慌ててベッドから跳び起きた。

「なんで携帯鳴らねんだよ！」

携帯電話は確かに鳴っていた。ヤツが起きなかったただけのこと。

「このおんぼろ携帯型電話機め！！！！！！」

My携帯電話に悪態をつきつつ、ダッシュで着替えて顔を洗い、
歯を磨き、髪型を調べ、

寢床についた。

・・・

「なんでやねーん！！！！！！」 コントしてる場合じゃねーだろ！！
！！！！」

一人ノリツツコミしながら急いで家を出た。

（昼）

「あぢー……」

季節は夏！ 時間は12時過ぎ！ つまり4限目！ 今までの戦績は先生達の必殺技にもびくともせず3時間爆睡！ つまり全勝！ 何を以てして勝利かというと、自分が寝るといったら寝続ければ勝利だし。真面目に授業を受けるといったら真面目に授業を受けたら勝利だ。

これは余談だが、学校には何とか間に合った。

ヤツは今、学校で体育の授業中である。授業内容はプールで水泳。それなら涼しそうなものだがヤツは朝の寝坊によりスクミズを忘れてきてしまったのだ。（スクール水着が女限定だと思ったら大間違いだぞ！）ヤツはプールサイドで見学となっている。つまり4戦1敗。

「なんでこんなに暑いんだー！」

夏場の敵は多い！ 暑さ！ 虫！ 水泳の後の怠さ！ 同じく水泳の後の眠気！ その他いろんな病気！ など。

「氷河期にしてやろうかー……！！！」

ヤツがとことん夏に対してどうしようもない悪態をついていた時、

“キーンコーンカッツコーン”

「よつつつしゃー……！！！！ 学食……！！！！！」

ヤツはチャイムを合図にクラウチングスタートで発射した。

「（・・・・・）ＺＺＺ・・・」

5 限目…いや、5 戦目と言おうか。ヤツは寝ている。

「起きろよー！ー！」

M t . t e a c h e r の 喧 しい 目 覚 ま し コ ー ル が 教 室 中 に 響 き わ
たる。

「くら！ 起きろ！」

ついにM t . t e a c h e r は ヤ ツ の も と ま で や っ て き た。

「俺の樂園「エデン」…樂園が…秋葉原に…アキバに…」

・・・

「そつとしておいてやろう…」

静まり返った教室の生徒＋先生はヤツを放置しておくことに満場
一致で決定した。

5 戦 4 勝

「やっと6限目〜!!」

ヤツは目覚めた。

6限目終了後に…。

・
・
・

「戦わずに負けた…orz」

本日の戦績

6戦4勝2敗

〜
夜
〜

「晩飯食い過ぎた〜。あ〜眠い…」

PM8:00 ヤツはMDコンポをリピート再生しながらベッドに横になっている。

「あ〜眠……………」

PM8:10

「あ〜ね……」

P M 8 : 2 0

「あ〜……」

P M 8 : 3 0

「あ……………」

・
・
・

P M 9 : 0 0

「…………… - - #) z z z」

ヤツは深い眠りに落ちた。もう目覚めることはないだろう。

「んなわけねーだろ！……！！（寝言です）」

夢遊病か！？（……）！

「ちげーよ！！（寝言だす）」

まあいいや（……………）

「いいのかよ……！！（寝言のはず）」

そして朝に戻る

（後書き）

このお話は時間の流れ以外は…

は…へ…

ヘクション！！！！！！（フィクション）

です。（またベタな…）

評価・感想をいただけると感謝の極みです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9385d/>

ヤツの一日

2011年1月4日14時47分発行